

『夏泊あおいちボランティア』（7月7日実施）



朝市で魚を販売する小学生

団子汁提供や
定置網教室も

夏泊漁港「あおいち」にぎわう

鳥取市青谷町の海と山の幸を集めた「青谷ようこそ市場（あおいち）」が7日、同町の夏泊漁港で開かれた。サワラの幼魚サゴシの団子汁が振る舞われ、大勢

の人が楽しんだ。

実行委員会が町の魅力を発信しようと、4年前から6～10月の第1日曜日にテーマを変えて開催。この日は青谷高の生徒もボランティアとして町の魅力を来場者に伝えた。

会場ではサゴシの団子汁が100人に無料で提供され、海鮮バーベキュー串の

ブースには長い列ができた。早朝には同市内の小学生9人が、魚が陸揚げされ朝市に並ぶまでを体験する「定置網教室」に参加。定置網で取れた魚の朝市では販売も体験した。

あおいち部会の道下励一郎部長（44）は「あおいちを通して、青谷町の魅力を県内外の人に知ってもらい、ぜひ訪れてほしい」と話した。次回はかちべ伝承館で開かれる。（浜中裕一朗）